

にこにこハウス医療福祉センター入所ご利用の皆様
新型コロナウイルス（COVID-19）の感染対応について～第15報～

2020年10月30日

施設長 河崎洋子

いつも当センターの運営にご協力ありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は日本では何とか踏みとどまっていますが、欧米諸国の状況は深刻になっています。今後冬に向けて日本でも第3波に向けての対策が必要です。そこで、7月より兵庫県下6カ所の重症児者施設と兵庫県、神戸市と検討を重ね、以下の2つの事業が本年12月1日より開始する運びとなりました。（11月1日より仮運用開始します。）

①緊急時の応援体制づくりコーディネート事業

入所利用者や職員に新型コロナウイルス感染症患者が発生した場合、多くの職員が濃厚接触者として自宅待機となる可能性があります。不足した職員配置で、利用者様のケアにあたる事はさらなる感染拡大を招くリスクがあり、職員の応援体制が必要です。そこで兵庫県下6カ所の重症児者施設で平時より連絡協力体制を整えて、院内発症を認めた施設へ応援職員を速やかに派遣する体制を準備しました。なお、応援派遣した職員が自施設に感染を持ち帰る事がないよう、応援派遣時には非感染病棟での勤務を基本とします。

②在宅療養困難な新型コロナウイルス感染疑似症の重症児者受け入れ事業

在宅で過ごす重症児者にとって、自身の感染の不安に加えて、主たる介護者の感染・入院により介護者不在になった際の受け入れの不安が大きな問題です。入所者への感染拡大を危惧して兵庫県下6施設では、濃厚接触者となった在宅重症児者の受け入れは困難としてきました。しかし、今後の感染拡大に向けて、院内感染対策を充分に行った上で濃厚接触者となった在宅重症児者の受け入れも行って行く必要があります。単独の施設で受け入れ体制を整える事は困難なため、兵庫県と連携しながら、兵庫県下6施設で職員応援体制の協力を行い複数の施設で陰圧個室管理での受け入れを開始する準備を進めて参りました。受け入れのコーディネートはにこにこハウス医療福祉センターが行い、実際の受け入れはにこにこハウスとその他2施設の計3施設で行います。（他2施設の施設名は非公表）なお濃厚接触者は今後発症する可能性があるため、入所利用者や他の短期入所利用者と受け入れ場所と職員配置をわける必要があるため、当センターでは3号館（災害避難スペース）1階で最大2名の受け入れの予定です。本事業の対象者は、主たる介護者がコロナ発症し、本人は未発症で濃厚接触者となった重症児者であって、市町において活用可能な手段がなく、また、親族の協力が得られない等の事情により市町での対応が困難な場合に限定しています。